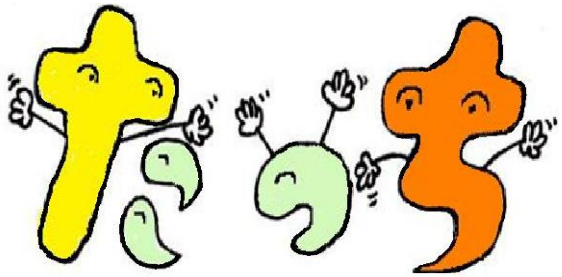
平成２６年度　　園だより１２月号



すすんでちょうせん

みんなといっしょに

がんばる

平成２６年１１月２８日 旭川大学附属幼稚園　園長　渡辺　盛二

「元気が出る子育てについて」

１０月２３日（木）に父母の会主催の講演会が開催されました。深川市のアートホール東洲館の館長の渡辺貞之氏が，昨年に引き続き「元気が出る子育てについて」という演題で，涙あり笑いあり心に響く素敵なお話をしてくださいました。都合で当日参加できなかった方もいらしたと思いますので，参加された方々の感想に私の感じたことも含め，講話の概要をお伝えします。

○公平に愛情を与えているつもりが・・・・・？

親は，きょうだいどの子に対しても同じように愛情を注いでいるつもりが，無意識に手のかかる年下の子や甘え上手な子に，手をかけたり膝にのせたりしまいがちです。年長の子には，「お兄さん**だから**・・・・。」「お姉さん**なのに**・・・。」と言う言葉で，親の愛情が満たされない環境におかれることが多く，友達や下の子にいじわるするなど様々な場面で心の不安定さやトラブルに発展する場合があります。子どもは，どの子もお母さんを独り占めしたい，抱っこされたいという思いがあります。手をつなぐ，抱っこする，話を聞いてあげるなどの愛情表現を忘れずに・・・。

○お父さんは，□○のどっちの形？

昔は，□だったそうですが，今は○と答える子供が多いそうです。父親は，家の支柱的存在です。子供の前では，父親の出番を作ってあげたり，父親の存在を高めるような配慮が必要です。また子供は，母親の父親に対する態度を真似するので注意しましょうと言っていました。子育ては，もちろん父親と母親の共通理解が大切です。両親が仲が良いと子供は安心します。意見が食い違うときには，子供のいないところで話し合いましょう。

○母親は子供を自分の一部と勘違い・・・・・・。

「どうしてうちの子はこうなんだろう。どうしてお母さんの言っていることがわからないの。」などとイライラして感情的に叱ってしまうことがよくあると思います。知らず知らずに，親の言い分を一方的に押し付けてしまうことがよくあると思いますが，少し離れて見守ることや子どもの言い分を最後まで聞いてから、親の方が冷静に落ち着いてから対応するよう心掛けることが重要です。親と子供は別の人格であることを認識することが大切です。

○小さな困難を克服する訓練が将来の自立へとつながる。

嫌いな食べ物も，一口でも頑張ってみよう，と言って食べさせたり，時間がかかっても準備や後片付けなど自分のことは自分でやらせてみるなど，小さな困難を克服するこ

との積み重ねが，やがて将来の大きな困難を乗り越える力が育つのです。友達とのトラブルは，相手の気持ちになって考えられる思いやりや社会性，自分の気持ちを伝えるコミニュケーション能力など子供を成長させるよい機会です。話を聞いてあげながら，相手にどんなことを伝えたらよいか自分はどうしたらよいかなど，考えさせることが大切です。

＜寄せられた感想をいくつか紹介します＞

○　前回良かったということを聞いたので今回初めて参加しました。講演会と聞くと正直眠たくなりそうなイメージでしたが，渡辺先生の話には，冗談あり笑いありで最初から最後まで興味深く聞くことができました。事前に受けていた質問に答えるかたちで進められましたが、自分にあてはまる内容ばかりで、自分ばかり悩んでいるわけではないことがわかり，話を聞いて自分を再度見つめなおす良い機会になりました。体験談を交えた話や絵などの話は興味深く，もう少し聞きたかったなあと思いました。

○　子供と一緒にいるとき，ついイライラして子供に当たってしまうことに自己嫌悪を感じていました。そのイライラの原因について，お話の中で子供に対する親の身勝手な期待によるものであり，親とは全く別の生き物である。ときには子供にとっては，迷惑になることもあるという話にハッとさせられました。何を考えているのかわからなくなってきた自分，子供を可愛いと思えず苦しくて泣いたこともありましたが，ときには可愛くないと思えることがあっても当たり前・・・と，子供を自分の脇の下に例えて納得させてくれた先生の話（爆笑）を思い出し，これからは少し軽い気持ちで子供と向き合っていけそうな気がしました。自分ではない，違う意思を持った子供たちを家庭の中で見守り，自分の力で自分の道を選べる大人に育てる・・・・育児は何だか大きなプロジェクトですが，そんな機会をもらえたことに感謝して，できるだけ気張らずに楽しくやっていきたいと思います。

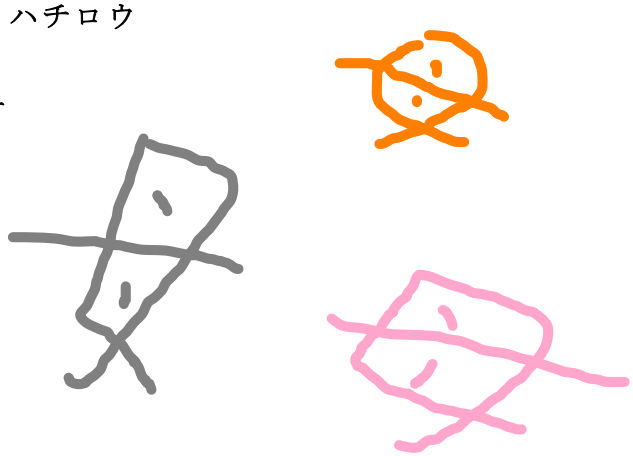
○　子供の何気ない絵の中にも，子供なりの意味があり，上手い，下手という見方ではなく，描いた過程を聞いてあげるということをお聞きして，子供の絵にすごく耳を傾けるようになりました。子供を注意するとき，手を肩にのせたり触れたりしながら目を合わせて伝えるととても素直に聞き入れてくれました。忙しいのを理由に，何かをしながら注意しても伝わらないし，意味がないなあと思いました。「見る・聴く・触る」は，１年前に聞いた話でしたが，思い出して反省しています。子育てがうまくいかない時，この３つをやっていなかったのかもしれません。

皆さんから頂いた感想を読むと，サトウハチロウさんの詩を思い出しましたのでご紹介します。

「母という字を書いてごらん」

サトウ　ハチロウ

母と言う字を書いてごらん
やさしいように見えて　むつかしい字です
格好のとれない字です
やせすぎたり
太りすぎたり
ゆがんだり
泣きくずれたり
笑ってしまったり
お母さんにはないしょですが　本当です



１２月行事予定

１２月　１日（月）平成２７年度園児受付日
１２月　２日（火）発表会代休
１２月　４日（木）おもちつき会
１２月　８日（月）さくらんぼＡ組
　　農業高校との交流会
１２月　９日（火）さくらんぼＢ組
　　農業高校との交流会

１２月１０日（水）みんなのあつまり
１２月１１日（木）さくらんぼ組
　　永山小学校との交流会
１２月１６日（火）お楽しみ会
１２月２２日（月）１２月生まれ誕生会
　　２学期のびっこ最終日
１２月２３日（火）天皇誕生日（休園）
１２月２５日（木）２学期終業式

＊１２月　１日（月）平成２７年度新入園児受付日について＊

１２月　１日（月）は、午前９：００より園児受付があります。受付後は入園に関する説明会を行います。（この日は、在園児の皆さんは休園になります。）

これに伴いまして、１１月２８日（金）は、準備のためのびっ子はありません。
ご理解ご協力をお願いします。

＊１２月　４日（木）おもちつき会について＊

この日は、遊戯室でおもちつきを行います。ついたお餅は、お昼にお雑煮や絡め餅にして食べます。（１２月３日（水）は、準備があるためのびっ子は仕事などで都合がつかない方のみ利用可能となります。ご協力よろしくお願いいたします。）

○永山公民館、アッシュでの作品展終了しました

・１０月２９日～１１月１３日まで（永山公民館）、１１月６日～１１月１２日（アッシュ）で開催していました「作品展」が終了しました。子どもたちの作品をたくさんの皆様に見ていただくことが出来まして、たいへん嬉しく思っています。
また、作品を見ていただいた後にたくさんのご感想をお寄せいただきました。心温まるご意見、ご感想をいただきありがとうございました。その中のいくつかをご紹介させていただきます。

○作品展を拝見してとてもとても楽しく、夢の中に入ってしまったようでした。きっと、制作された園児さん達も大きな活き活きとした声や動きといった感動がいっぱいであったでしょうね。さらに制作過程もわかるような写真や感想や思いもあってなおいっそう感動しました。さてさて、夜になってこの公民館が寝静まったらスイカや虫たちは思いっきり遊びまわるのでしょうね！
○先生方の子ども達に対する温かい心が感じられました。自然をテーマにすばらしいですね。普段気がつかないで生活している中でさすが幼稚園での学びではすばらしいです。
○とても楽しそうに作る姿が想像できる作品ばかりでした。どれも作るのが楽しい！と伝わってきて見ていて笑顔になりました。みんなじょうず、じょうず。
○とても個性のある作品で写真を見ながら一生懸命取り組む子どもの姿を想像しました。思うままに表現することはこれからも大事にしてほしいです。

今月の子ども達

いちご組もりもりパーク

アッシュの作品
展見てきたよ

れもん組わくわくエッグ

たっぷり遊んでたのしかった～！

さくらんぼ組短大ワークショップ

体の形を型どって作品をつくりました。

発表会の準備・練習

発表会背景の絵
を描いたよ

老人施設の肩が練習の様子
を見に来てくれました。

［お礼］

このたびは、１１月２日義父の死去に際し、父母の会よりお悔やみのお言葉、過分なる御香典をいただき、誠にありがとうございました。

略儀ながら、書中を持ちましてお礼を申し上げます。

佐藤　聖子

チョークでお絵描き